

事前評価報告書

事業名 : デジタル・スキル研修 & 就労支援を通じたシングルマザーのエンパワーメントと
地域格差の解消

資金分配団体: 一般社団法人グラミン日本

事業名 : 被災過疎地域におけるシングルマザーによるシングルマザーのための
デジタルスキル習得・就労総合支援事業—こころと経済的自立による幸福度向上

実行団体 : 一般社団法人 BlessU

実施時期 : 2024年5月～2027年02月

対象地域 : 岩手県沿岸部

直接的対象グループ: シングルマザーとその子ども

間接的対象グループ: 地域の独居高齢者など

事業概要

事業概要

当事業は、主に岩手県沿岸部のシングルマザーが「実践しながら」パソコンスキルやビジネススキルを習得できるプログラムです。

デジタルスキルの習得のみにとどまらず、行政でも把握しきれていない地域のシングルマザーの現状把握(世帯数、就労状況、収入など)から、個人に対しての個別支援プランの策定、そして個人の目標の実現に向かいよりパーソナルに寄り添い、支援団体と企業の強みを最大限に活かした伴走支援を実施します。

当事業の最大の特徴は、PCの個人所有やブラインドタッチなどの要件を求めず、基礎スキルを身につけていない方でも挑戦することが可能な点です。地域の現状を鑑みて、挑戦へのハードルを高く掲げないことと同時に、個人のレベルに見合った研修・実践を選択することが可能なプログラムを実施します。

挑戦のハードルを下げることは、同時に相談(出逢い)のハードルを下げることであり、出逢いから仲間づくり、生活課題の解消・軽減、就労支援の居場所づくり、実践が伴う専門的なデジタルスキルの習得、研修修了後の業務継続までを一貫して行います。事業開始直後から10名が月4万円の収入を得られる業務が確保され、研修・実践の参加人員の増加にも対応可能であり、受講者の収入安定への出口が保障されています。

同時に当事業の実施にあたり、「社会的孤立」と「経済的困窮」というシングルマザーと共通の課題をもつ地域の高齢者の「役割創出」を行います。シングルマザーが学ぶ時間に地域の高齢者が子守り役を担い活躍することで、社会参加の機会となり役割を取り戻します。社会的弱者と呼ばれる「高齢者とシングルマザー」が手をつなぐことにより相乗効果を生み、「子どもは地域の宝」「高齢者は地域(子)を育てる宝」の相互多重な支援関係を構築することができます。

| |
|--|
| 中長期アウトカム |
| 日本社会において、シングルマザーの貧困課題を自己責任とせず、社会全体の仕組みの課題であると認識し、様々な分野の人々が関わり協力しあうことで課題解消を目指す。被災した岩手県沿岸地域(主に山田町)において、シングルマザーが自らの意志で就労に必要なスキルを身につけて経済的に自立できるような仕組みを作り、社会制度に頼らず長く住み続けられる地域・社会になる |
| 短期アウトカム |
| プログラム参加者が研修に参加できる状態にあり、デジタルスキルの向上と学ぶ環境が整備されている |
| プログラム参加者が収入向上の傾向にある |
| 母子のウェルビーイングが向上している |
| シングルマザーの貧困問題を地域・社会全体の課題と認識されている |
| 組織基盤が強化され、地域に根差した相談窓口としての存在を確立する |

事業の背景

| |
|--|
| 【1】社会課題 |
| <p>岩手県沿岸部には専門学校や大学が無いことから、親元を離れ内陸部へ転居することが不可欠であるため、経済的理由から高校卒業後は管内に就職するケースがほとんどです。</p> <p>また沿岸部は、主に漁業などの一次産業、水産加工場や工業系製造業の二次産業に就職するケースが多く、パソコンスキルを身につける機会が極めて少なく、かつ単価の高い賃金を得ることが困難です。</p> <p>とくに女性の場合、若くして結婚・出産するケースが多く、学歴やキャリアを積む前にシングルマザーとなることも少なくありません。</p> <p>同時に東日本大震災以降、山田町・大槌町ではひとり親世帯が増加傾向にあり、県内でも生活保護率が高いのが現状です。</p> <p>養育費についても、取り決めをしないままに離婚し、全体のおよそ9割は養育費を得ることができずにいるため、自らの力で生活困窮から脱することは極めて困難です。</p> <p>被災過疎地域における社会課題が顕著になる一方で、ひとり親家庭に対する支援やサポートができる地域資源は乏しく、支援はおろか相談すらできずに課題は長期化かつ深刻化したまま、ひとり親家庭は孤立している傾向にあります。また、山田町のひとり親家庭の月平均就労収入は10～12万円と県平均と比較しても極めて低く、子育てをしながら就業しているものの、子育てと仕事のバランスをうまくとれずにいることが、貧困の長期化を助長する要因のひとつとなっています。</p> <p>孤立と貧困、どちらか一方の支援だけでは不十分であり、孤立と貧困の両面からのサポートを行うことが貧困の長期化を防ぎ、子の将来の貧困の連鎖を断ち切るにつながります。</p> <p>また被災した山田町では、東日本大震災以降、若者の人口流出が大きな課題であり少子高齢化が加速しています。小・中学校は統合し、地域に子どもの姿をみるのが極めて少なくなり、高齢者の役割と社会参加の機会は奪われ、かつ高齢者</p> |

の見守りの担い手も不足している状態にあります。

【2】課題に対する行政等による既存の取り組み状況

山田町では生活困窮者自立支援窓口の設置しているものの町外(隣接市)にあり、かつ任意事業(就労準備支援や居住支援)は行っておらず生活保護等の制度につなぐのみとなっています。

また、山田町社会福祉協議会においては東日本大震災による被災エリアへの高齢者への見守りは継続し業務受託しているものの、生活困窮や孤立防止の課題解消の目的ではなく、生存確認のみとなっており、担い手が不足しているのが現状です。

【3】課題に対する申請団体の既存の取組状況

シングルマザーに対し、web業務研修・実践サポートを実施し、企業よりアウトソースされた業務実践により月4万円程度の副収入を得られるデジタルスキル研修プログラムを実施しています。同時に高齢者に対し、2011年東日本大震災・2019年台風19号で二重被災したエリアにおいて、農作業と手仕事などの高齢者の社会参加の機会を提供し、作業で得た収益を高齢者が得られる交流拠点を運営しています。

【4】休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義

実践を伴うデジタルスキル研修を実施するため極めて短期間で収入を得ることが可能であり、逼迫した家計を早期的に改善することが可能です。

また事業開始時から3か年をかけて当事業の費用対効果などを明確に示し、行政の現状把握不足と課題認識不足の改善および公共事業化実現を求め、官民一体となり取り組むことを提案します。加えて児童扶養手当や生活保護、介護保険料等の社会制度の費用削減の点においても有意な取組みです。

評価スケジュール・実施体制

| | 事前評価 | 中間評価 | 事後評価 |
|---------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 評価計画の見直し時期 | 2024.05 | 2025.05 | 2026.08 |
| 実施時期 | 2024.6-10 | 2025.07-09 | 2026.10-12 |
| 提出時期 | 2024.10.16 | 2025.10 | 2027.01 |
| 実施体制 | 事業責任者、評価担当者(アンケート調査・ヒアリング調査) 評価アドバイザー(調査の実施・分析) | 事業責任者、評価担当者(アンケート調査・ヒアリング調査) | 事業責任者、評価担当者(アンケート調査・ヒアリング調査) 評価アドバイザー、外部評価委員(文献調査の実施・分析) |
| 資金分配団体の伴走支援内容 (実行団体のみ入力) | 各評価研修を実施し、月次面談等にて助言、点検、フィードバックを実施する | 各評価研修を実施し、月次面談等にて助言、点検、フィードバックを実施する | 各評価研修を実施し、月次面談等にて助言、点検、フィードバックを実施する |
| 評価関連経費(金額) | ¥540,000 | ¥0 | ¥960,000 |
| 評価関連経費の使用方法 | 調査費(440,000)、 報告書作成費(100,000) | | 調査費(440,000)、文献作成費(200,000)、報告書印刷費(160,000)、調査時旅費(160,000) |
| 評価関連経費を使用することで、どのように評価の質を上げることが目指しますか | 評価アドバイザーをいれ、ロジックモデルの検証～成果指標設定に対する専門的なアドバイスをすることで、評価の質を向上。 | | 事後評価時に外部有識者による評価委員会を設け、評価結果の妥当性を検証し評価報告書を作成。評価結果の発信を図るとともに、普及啓発を促進する。 |

評価実施概要

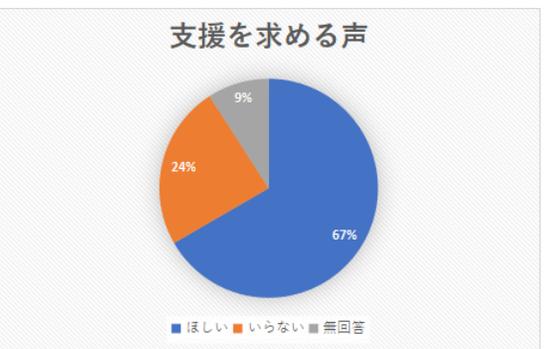
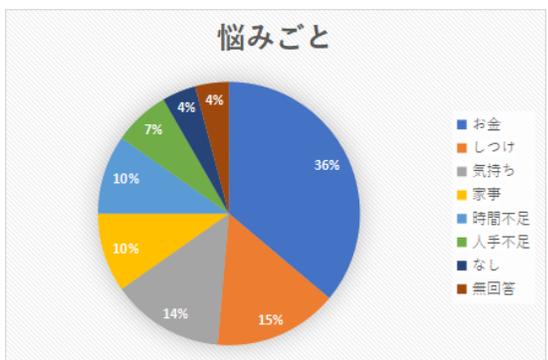
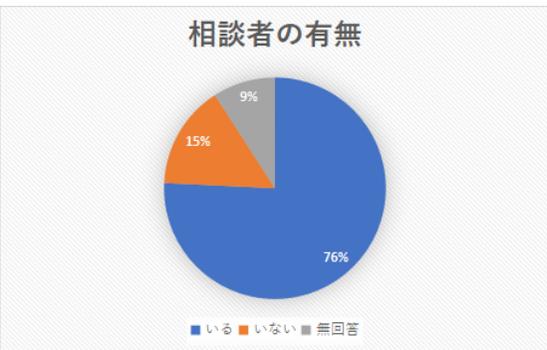
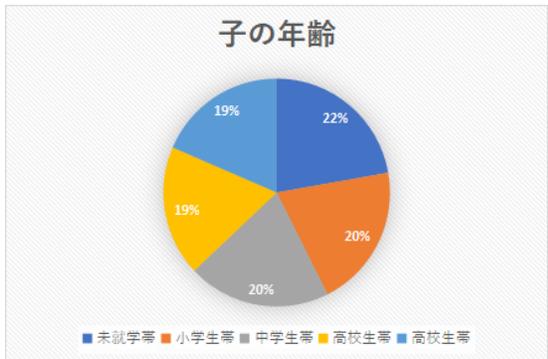
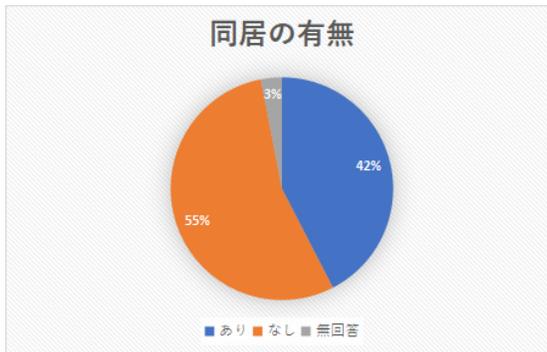
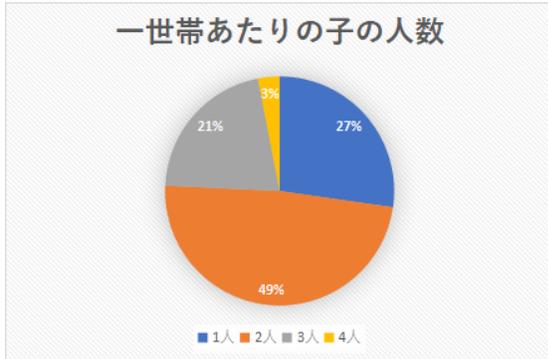
| | | |
|------------|----------|--|
| 1.ステークホルダー | 対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザー(43名)、連携団体(8団体)、自治体職員(12名)、協力企業担当者(3名) |
| | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーは、ニーズとデジタルスキルのレベル把握のための主要対象者 ・協力企業 ・連携団体はプログラムの実行性と就労先提供の観点から、自治体 ・連携団体は地域資源の活用と支援制度に関する情報を提供 |
| 2.調査方法 | 手法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング、アンケート調査、文献調査、インターネット調査等 |
| | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングとアンケート調査を併用し、定性的・定量的データを収集 ・また、自治体職員へのヒアリングにより民間団体へ求める支援と事業化を検証 |
| 3.調査内容 | 調査事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーが求めるスキル研修内容 ・連携 ・協力団体との協力体制構築の可能性 ・当初計画したプログラム内容に対する評価 |
| | ポイント | <p>シングルマザー:支援ニーズ、デジタルスキルレベル、就労目標</p> <p>協力企業:協力の構想、提供可能なリソース、期待される支援内容</p> <p>自治体:地域の就労支援策との整合性や地域特有の課題</p> <p>運営(自団体):プログラムの実行可能性や運営に関する課題</p> |
| 4.結果の検証 | 当初計画の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーの多くがデジタルスキルの向上を希望し、当初計画の研修内容がニーズに合致していることを確認 ・提供予定のスキル研修内容が実際のニーズと一致している |
| | 実行可能性の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施に向けたプログラムの運営方法や支援体制の評価 ・リアル会場での実施およびオンラインへ研修の柔軟な対応が可能 |
| | ポイント | <p>研修プログラムの内容はニーズに対しての妥当性と実行可能性は</p> |

| | | |
|------------------|------|---|
| | | 担保されているものの、起業支援のプログラム内容を強化する必要があると判断 |
| 5.課題の解決とプログラムの修正 | 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県沿岸でシングルマザー支援団体の存在が浸透していない ・計11回のプログラムはスケジュールがタイトなため仕事や子の行事等で欠席になる可能性が高い ・参加者全員の希望する曜日 ・時間に実施が困難 ・現状、連携企業(業務受託)が限定的である |
| | 修正内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治体やハローワークが研修会場の提供と参加者募集をサポート ・参加者専用のSlackチャンネルを設け、研修の録画やレポートを共有し、円滑なコミュニケーションを図る ・連携による企業側の利益(社会貢献、ブランド価値の向上、新たな市場へのアクセスなど)を具体的に示し、他の企業との連携成功事例を紹介、参加による成果や実績を伝える(パートナー企業制度の導入キャンペーン実施) |
| | ポイント | 事前評価で、シングルマザーのニーズにビジネススキルの研修が不足していることが判明したため、新たにオンラインツールを用いて研修を実施することを追加。また、パートナー企業制度の導入キャンペーンを実施し、これにより参加者のスキルアップと就労機会の拡大が期待される |

調査結果

アンケート結果

ひとり親家庭食糧支援アンケート集計(32名 回答)



悩みごと自由記述

- ・将来のこと
- ・子どものイヤイヤ期
- ・自分の時間が欲しい
- ・子育てと仕事の両立
- ・教育費
- ・仕事
- ・反抗期
- ・コロナ

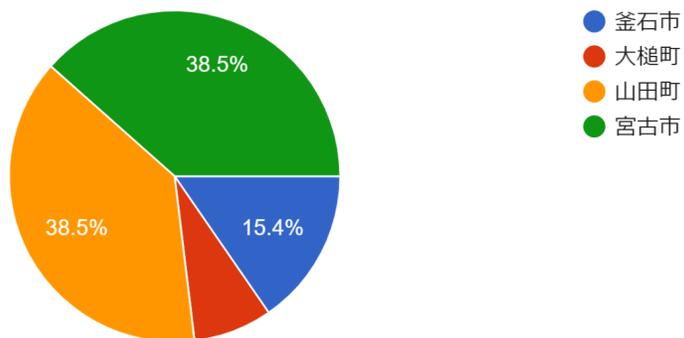
求める支援自由記述

- ・子どもの居場所
- ・家事、育児
- ・食糧支援
- ・配食
- ・地域食堂
- ・子どもから少し離れてゆっくりする時間がほしい
- ・学校以外の学習の場
- ・相談相手
- ・趣味、サークル
- ・交流

児童扶養手当受給者アンケート集計(13名回答)

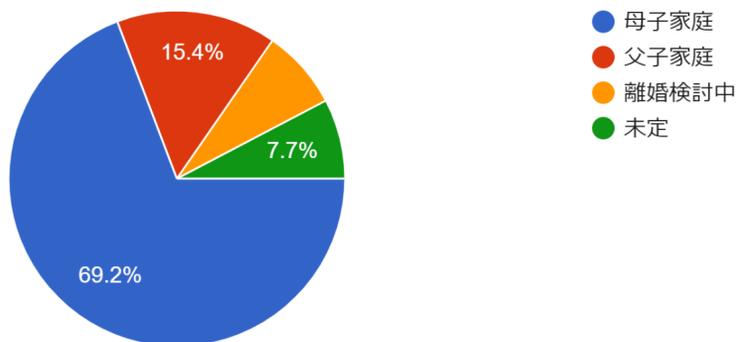
現在のお住いの市町村を教えてください

13件の回答



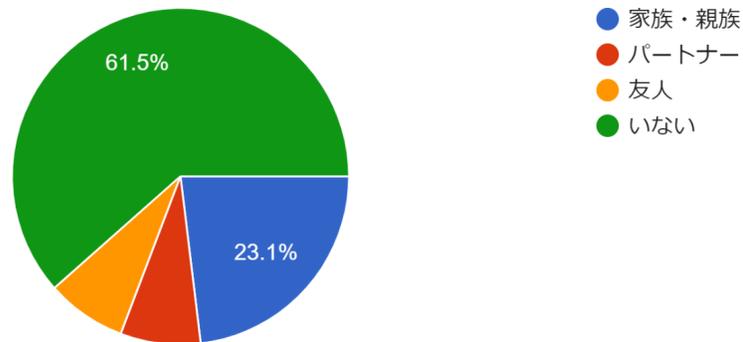
あなたの世帯を教えてください (現在離婚を検討している方はその他へその旨記載ください)

13件の回答

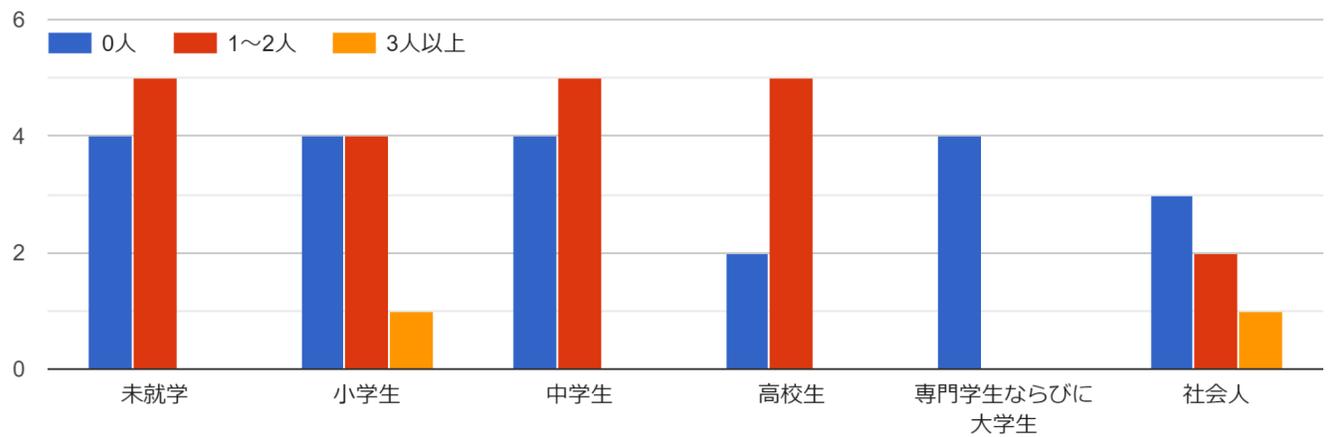


お子さん以外に同居している方はいますか

13件の回答

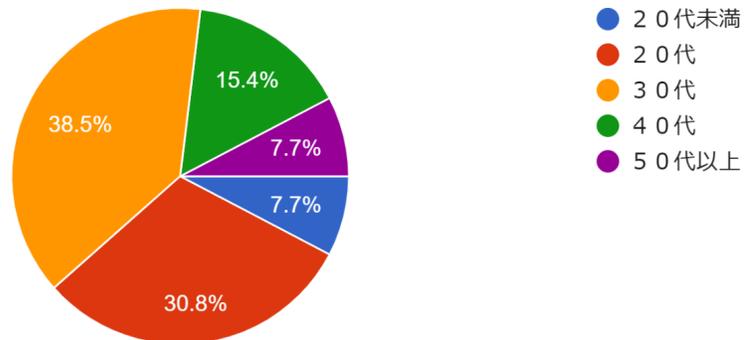


養育する子どもの人数と年齢層を教えてください（0人の場合にも0人にチェックが必要です）



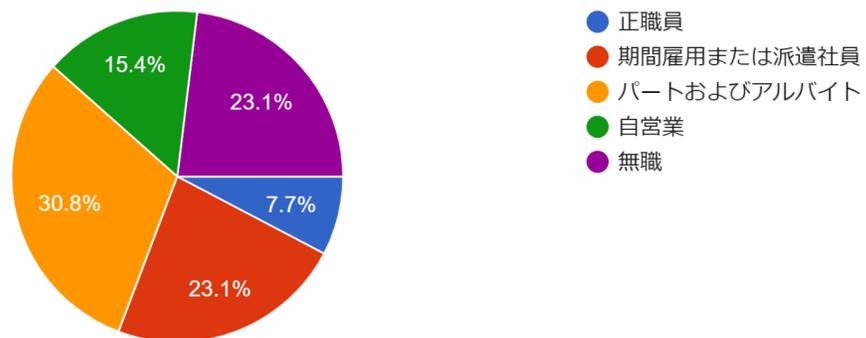
あなたの年齢を教えてください

13件の回答



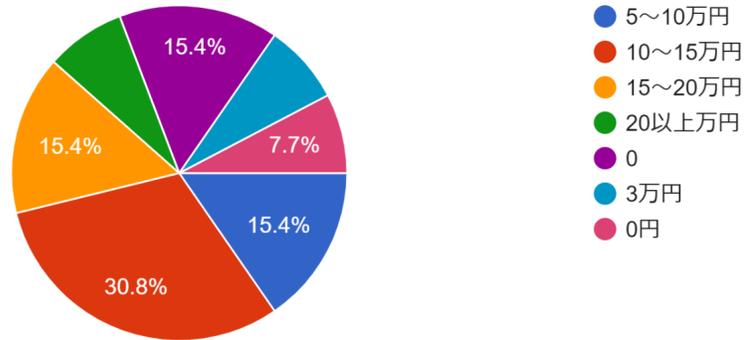
現在の雇用形態を教えてください

13件の回答



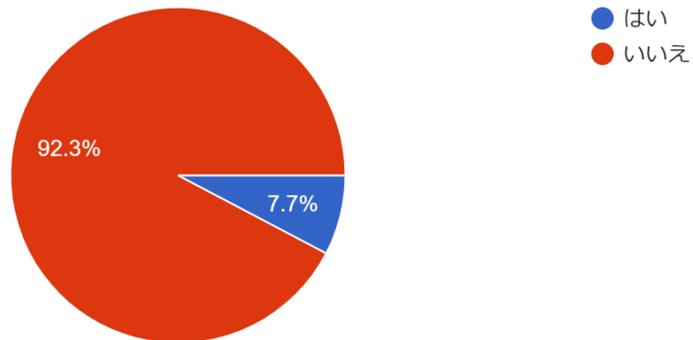
現在、あなたの仕事の月收入（手取り）を教えてください

13件の回答



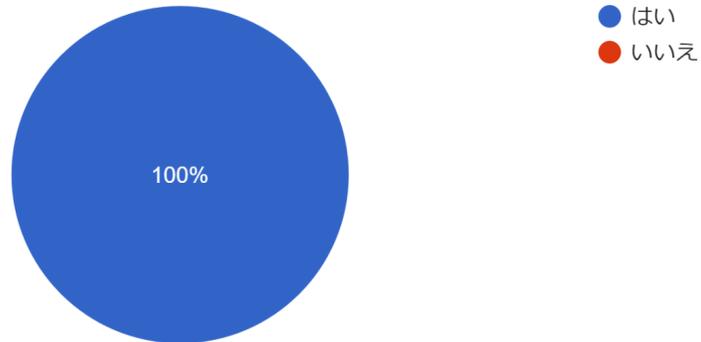
現在の収入に満足していますか

13件の回答



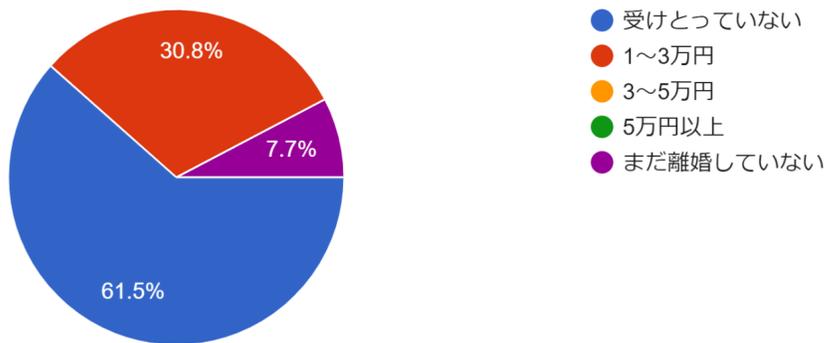
副業に関心がありますか？

13件の回答

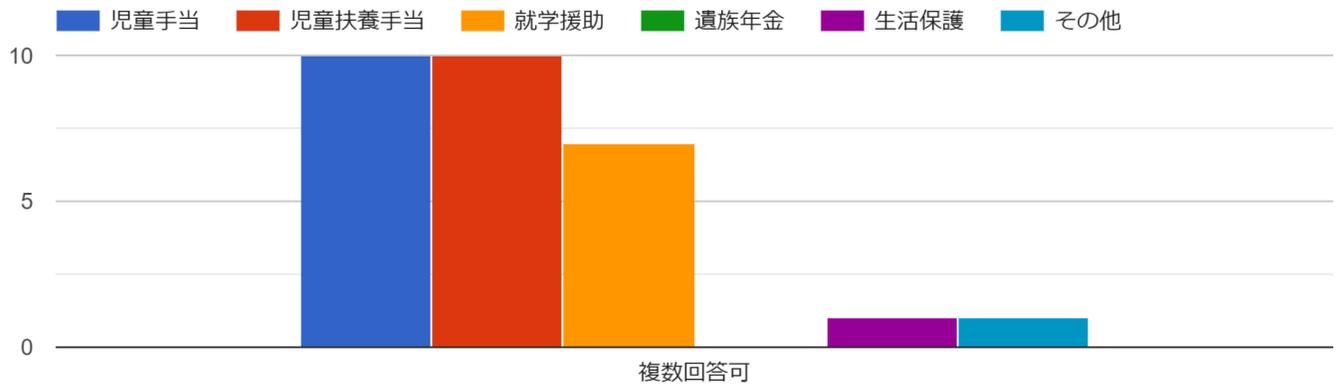


養育費は子ども一人に対し、いくらもらっていますか

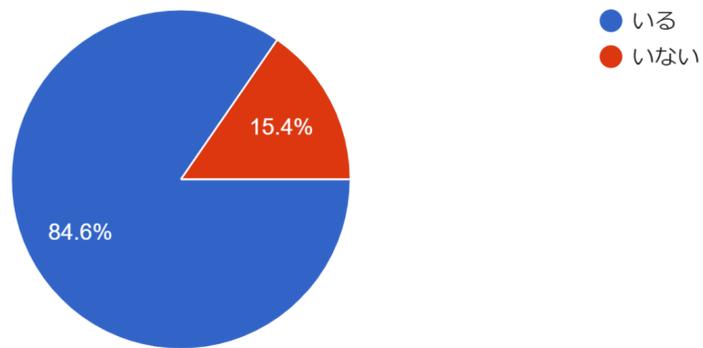
13件の回答



現在、利用している社会制度を教えてください

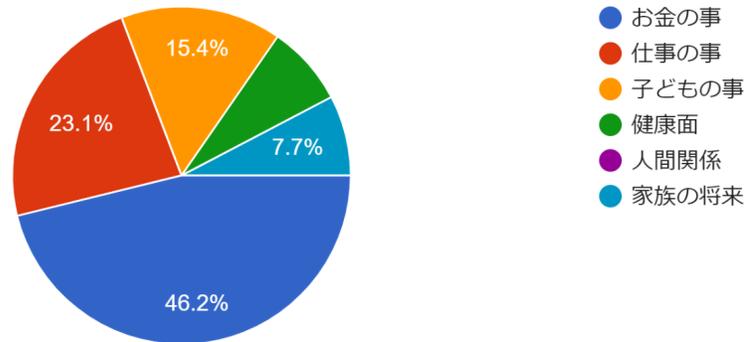


現在、子育てや生活面で悩みを相談できる人はいますか
13件の回答



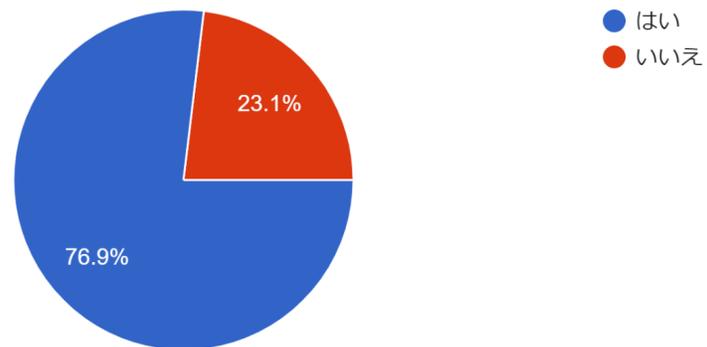
あなたが今一番悩んでいることを教えてください

13件の回答

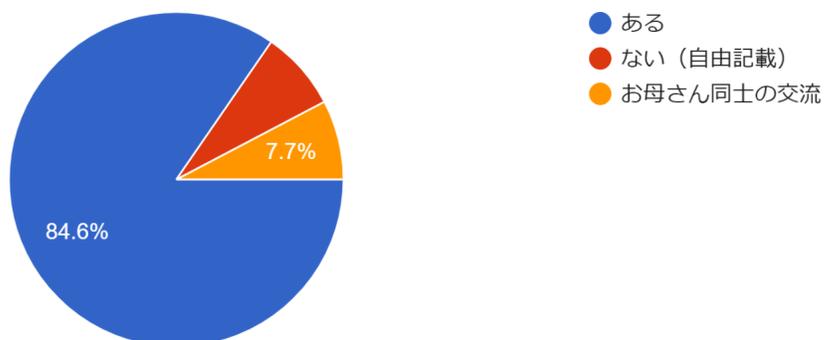


自身のプライベートタイムやリラックスする時間を確保していますか

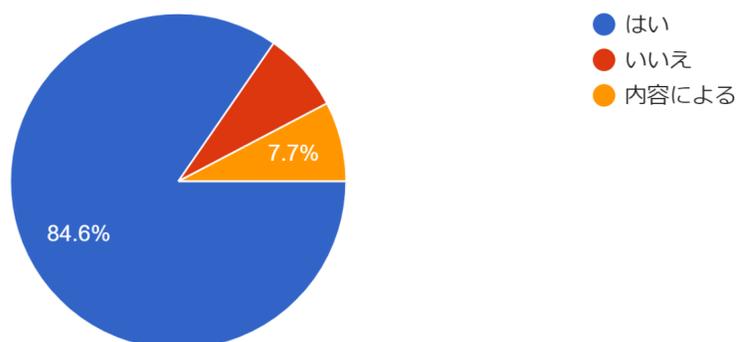
13件の回答



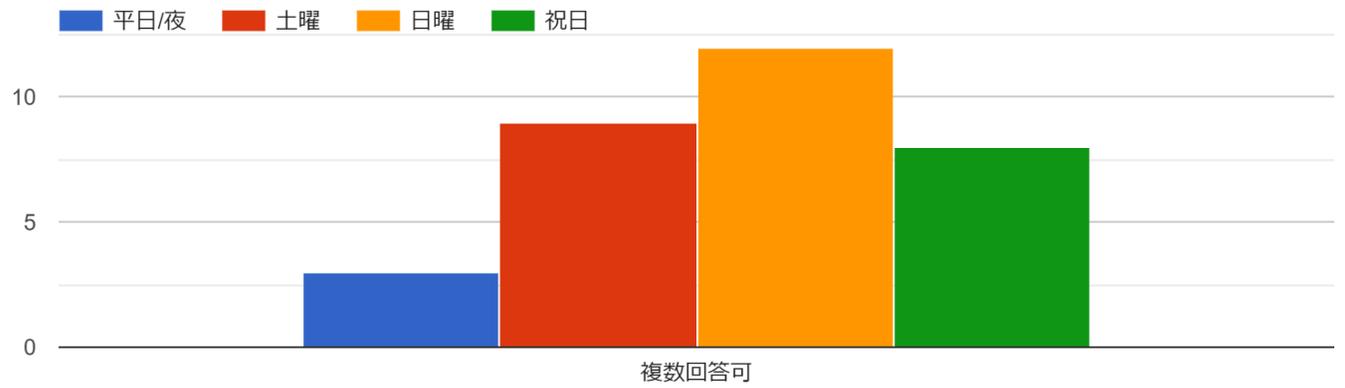
リラックスするための趣味や活動はありますか？もし無い場合、興味のあることはありますか？
13件の回答



お楽しみイベントがあったら参加したいと思いますか（例：BBQ,花火）
13件の回答

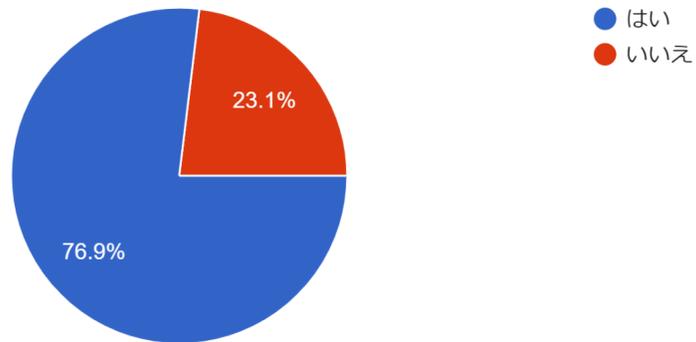


何曜日なら参加できますか



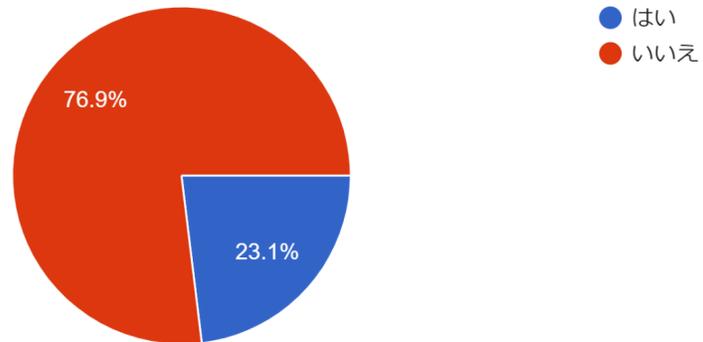
車はお持ちですか

13件の回答



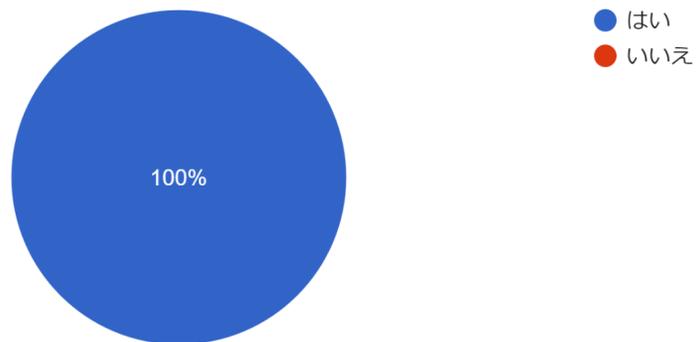
個人で使用できるパソコンはありますか

13件の回答

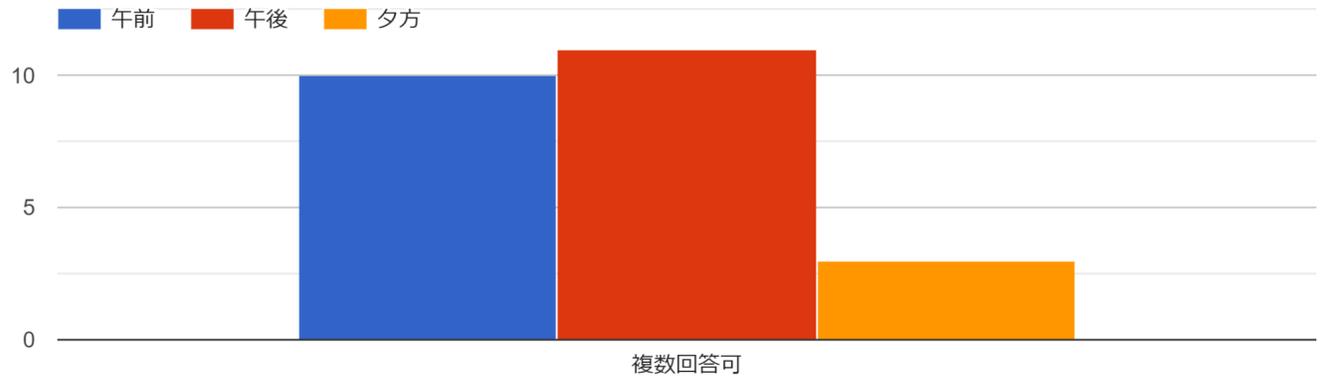


パソコンのスキルを身につけたいと思いますか

13件の回答

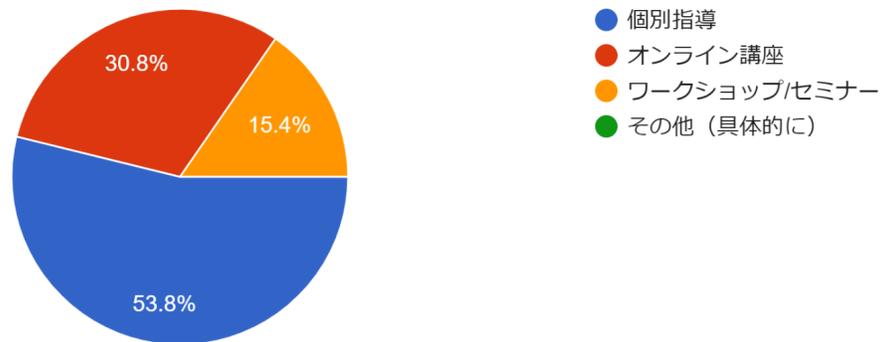


土日祝日でパソコン勉強会を開催する場合、参加しやすい時間帯はどれですか

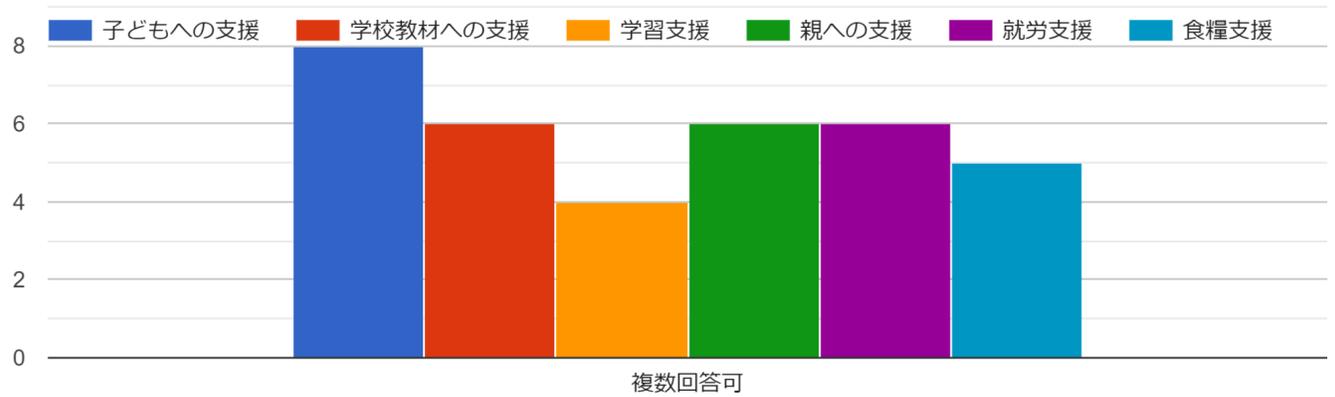


パソコンスキルを向上させるために、どのようなサポートがあれば助かりますか？

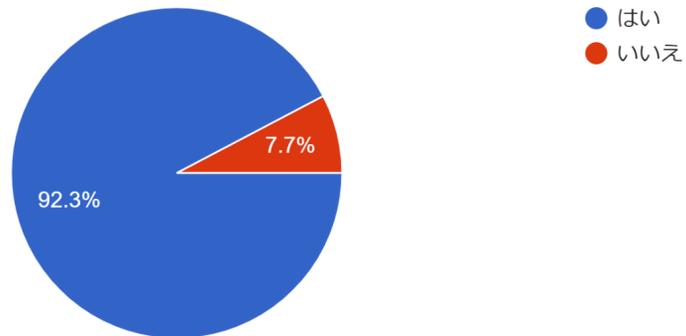
13件の回答



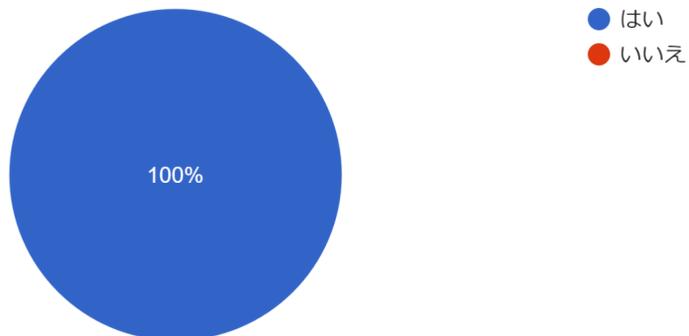
現在あなたが必要だと感じる支援を教えてください



10年後の子どもとあなたの「なりたい姿」になるために、一緒に新しいことに挑戦しませんか
13件の回答



わたしたちブレスユーでは、在宅ワークが可能な...研修」ができるなら、参加したいと思いますか？
13件の回答



シングルマザーへのヒアリング

- Hさん(30代 / 山田町 / パート / 子ども一人 / 実践者)

私は、パソコンの設定すらままならなかった頃から、丁寧に指導していただき、少しずつ理解を深めることができました。特に、夜遅くの連絡にも快く対応していただけたおかげで、気兼ねなく作業を進めることができ、子供が寝た時や宿題をしている時間を有効活用しながら仕事できています。本業ではフルタイムで働けない中で、貯金ができず将来の子供の進学費用に不安を感じていましたが、思っていた以上に報酬も得られ、今は安心感を持てるようになりました。

仕事に慣れてきてからは楽しさも増し、事務所に行った際には仕事の話だけでなく、世間話もできる楽しい時間を過ごすことができます。また、パソコンの貸し出し制度もあり、気軽にスタートできたことが大きな助けとなりました。同じシングルマザーである中居さんにも様々な相談ができ、非常に頼りにしています。将来、子供が遠方へ就学した際にも、パソコン1台で収入を維持できる安心感があり、今後は自分のパソコンを購入することが目標です。

さらに、今年はパソコンで得た収入でエアコンを購入しました。子育てをするうえでの変化といえば、子供の習い事に対して、快く応援できるようになりました。この経験を通じて、自分の時間を有効に使いながら、経済的な安定を得ることができたことに感謝しています。

- Oさん(20代/大槌町 / パート / 子ども一人 / 実践者)

最初は、「PCを無償で借りられる」「誰でもできる」と聞いて、あまりにおいしい話だと思い、正直騙されているのではないかと疑っていました。しかし、実際に始めてみると、パートの時給よりも効率的に報酬を得られることが分かり、驚きました。私は裕福になりたいとは考えていませんが、必要最低限の生活費を確保したいという思いから挑戦することにしました。

将来、息子のために貯金をしておきたいと考えており、直近の目標としては自動車免許を取得することを目指しています。ただし、自宅で仕事をする際、モチベーションを維持するのが難しいと感じることもあり、その点での工夫が必要だと考えています。

- Sさん(20代 / 宮古市 / パート / 子ども一人 / 実践者)

子どもと自分が立て続けに感染症になってしまい、保育園や仕事を長期で休むことになりました。体調はすぐに回復しましたが、出勤停止期間が2週間ほどありました。その間はブレスユースの業務に取り組むことができ、そのおかげで収入が減ることへの不安や焦りを感じることなく、安心して過ごすことができました。

また、お盆の時期に台風が立て続けに発生し、備えなければという不安を感じていましたが、お盆休みに入る直前に報酬を得られたため、台風に備えて食品などを買い込むことができ、とても感謝しています。

- Fさん(20代 / 宮古市 / パート / 子ども一人 / 実践者)

以前は工場系の仕事をしていたのですが、子どもの体調不良などに理解を得られず退職することになりました。子どもが小さいため、土日・祝日が休みである事務系の仕事を希望していたが、どの求人も「PCできる方」が条件となり諦めてきました。今は保育所の調理業務にパートで勤めています。

でも、子どもに我慢ばかりさせて育てたくないことや、同居している両親に生活費を支払いたいので、少しずつ収入を上げていきたいです。今後の目標は月5万円を目指したいです！

- Sさん(40代 / 宮古市 / パート / 子ども二人 / 未実践者)

夫のモラルハラスメントや経済的な問題から、現在離婚を考え悩んでいます。そんな中、友人の紹介でブレスユースを訪ね、離婚に備えてデジタルスキルを学べると聞き、研修に参加することになりました。お金の問題など、シビアな話は友人にも相談しにくかったのですが、ブレスユースのような支援団体があることを知り、安心感を得ることができました。

離婚に向けた情報収集だけでなく、一緒に行動してくれるパートナー的存在がいることで、心強さを感じています。

- Kさん(20代 / 宮古市 / パート / 子ども一人 / 未実践者)

周囲にシングルマザーがいないことや、もともと友人が少ないこともあり、共感し合える仲間がいないと感じる日々を過ごしていました。しかし、子どもにはいろいろなことに挑戦して視野を広げてほしいと考えており、そのために自分が応援できるよう、副業に挑戦することを決意しました。

ブレスユーを知ったきっかけは、新聞に掲載されていた記事を見た同僚が勧めてくれたことでした。今後は報酬を増やし、子どもの学習や就職、さらには自身の老後にも備えていきたいと考えています。

- Mさん(40代 / 宮古市 / パート / 子ども三人 / 未実践者)

知り合いからブレスユーの話を聞き、訪ねてみました。パソコンスキルにはあまり自信がなかったものの、離婚直後ということもあり、「何もしないわけにはいかない」と思い、研修に参加することにしました。参加を決めた理由として、子どもの見守りサポートがあることや、研修と子どもの行事が重なった際には後日動画で学習できるなど、柔軟な対応が可能な点が大きかったです。

また、同じ思いを持つ人たちが集まる場だと思うと、参加へのワクワク感も感じています。

- Sさん(40代 / 宮古市 / パート / 子ども二人 / 未実践者)

以前からパソコンを学びたいと思い色々検索していました。偶然ヒットしたのがブレスユーでした。新聞記事の掲載もあり、地域に密着した法人なのだと知り、安心して訪ねました。離婚から僅か1年しか経過していないこともあり、将来が不安でしたが、自分自身が変わりたいと願っているため挑戦することにしました。

経験者の話を聞きつつ、同じ境遇の仲間と知り合えらと思うと心強いです。直近の目標は、人前で話すことやコミュニケーションをとれるようになることです！

事業計画の概要

| デジタルスキル研修&就労プログラム概要 | |
|---------------------|--|
| 時期 | 第1期:2024年10月～2025年03月 第2期:2025年01月～2025年06月 第3期:2025年06月～2025年11月 第4期:2025年11月～2026年04月 第5期:2026年02月～2026年09月 第6期:2026年06月～2026年11月 |
| 対象地域 | 岩手県沿岸地域 |
| 参加者数 | 計100名(第1期:15名、第2期～第6期:15～20名) |
| 実施会場 | ・山田町 まちなか交流センター ・宮古市 うみマチ広場/イーストピアみやこ ・大槌町 大槌町文化交流センター(おしゃっち) 釜石市釜石情報交流センター(かまいしPIT) ※山田町ではwifiと広さを確保できる会場がない。また広大な面積(沿岸縦断200km)のため一か所に限定しない |
| 支援内容 | 伴走支援 <ul style="list-style-type: none"> ・受講者および受講を検討している方に対し、SNSを活用しハードルの低い相談窓口となる ・受講希望者と個別面談を実施し双方の目標を設定。支援プランを作成したのち研修実施 |
| | ライフスキル研修 ビジネススキル研修 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルスキル研修とは別に、親子でキャリア形成を考えるきっかけになるイベントを開催 ・転職等に向けて、個性と武器を知り、活かすための講習を開催 ・税務関係の講習開催 |
| | デジタルスキル研修 <div style="text-align: center;">  <p>「ステップアップ180プログラム」カリキュラム</p> <p>全くPCスキルがない → MOS 初級レベル → WEB業務 初級レベル → 業務受託可能レベル</p> <p>第1回 PC基礎操作① 第2回 PC基礎操作② 第3回 Google基礎操作① 第4回 Google基礎操作② 第5回 納品チェック業務に向けて 第6回 CMS操作① 第7回 CMS操作② 第8回 HTML基礎 第9回 ビジネスメール講座 オプション研修 第10回 Canvaデザイン 第11回 スプレッドシート関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC基礎用語、ショートカットキー ・Googleアカウント作成 ・Googleスライドの基礎操作 ・著作権について ・ZOOM、Slack等の基本操作 ・WEB用語 ・HP納品チェック業務操作、実践 ・HP運用更新業務操作、実践 ・メールワイス、kintone等の操作 ・ビジネスメール講座 ・HTML基礎 ・canvaデザイン ・スプレッドシート関数ほか </div> |

| | | |
|------------------|---------|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基礎的な操作から実践に即効性の高い専門的なツールを使った操作の研修 ・Slackを活用し、いつでも質問回答が可能な状態を生み、理解力の向上を図る |
| | 起業・就労支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・税務関係の講習開催 ・実際の業務を経験できるインターンシップや職場体験の機会を提供 ・起業の資金調達を支援するために、クラウドファンディングの立ち上げやプロモーションのサポートを行う ・シングルマザーの起業家や働く女性との交流会を開き、具体的なアドバイスやサポートを受けられる場を提供します。 |
| | その他支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修時には、地域の高齢者ボランティアによる子守りサポートを実施 ・同期グループ制を用いて、学びあうコミュニティを構築 |
| シングルマザーに期待する起業内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・現在就労する企業においてデジタルスキル専門知識を活かすことで、長期的なキャリア形成やスキルアップに繋げる ・ホームページ保守管理業務@リタワークス株式会社 ・企業や個人事業主向けに、メール対応、データ入力、スケジュール管理などの事務サポートをオンラインで提供@地元企業 |
| 主な協力団体 | | <p>自治体: 岩手県沿岸部12市町村/岩手県庁ならびに宮古</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石広域振興局 <p>社会福祉協議会: 岩手県沿岸部12市町村</p> <p>関係機関: キャリアバンク盛岡オフィス/ NPO法人みやっこベース/三陸NPO支援センター/NPO法人ふれあいステーション・あい(公財)共生地域創造財団/ NPO法人きょうせい大船渡/一社スナフキン・アンサンブルいわて連携復興センターNPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ/なないろキッチン(任意団体)/やまだ・わんぴいす(任意団体)</p> <p>企業連携: リタワークス株式会社グループ</p> |
| 出口戦略 | | <ul style="list-style-type: none"> ・当事業をモデルとした支援事業を岩手県ならびに市町村で事業化するための課題提起と事業提案を実施 ・岩手県沿岸から内陸部を含めた全域を網羅するために、オンライン実施を主とする ・オンライン化に伴い、研修業務の内製化およびマニュアル整備 ・デジタルスキル研修実施内容をeラーニングコンテンツ化 ・居住支援法人 資格取得(生困相談事業受託に向けて) |

事業計画の確認

当初計画の検証

- ・シングルマザーの多くがデジタルスキルの向上を希望し、当初計画の研修内容がニーズに合致していることを確認
- ・提供予定のスキル研修内容が実際のニーズと一致している

実行可能性の検証

- ・実施に向けたプログラムの運営方法や支援体制の評価
- ・リアル会場での実施およびオンラインへ研修の柔軟な対応が可能

ポイント

研修プログラムの内容はニーズに対しての妥当性と実行可能性は担保されているものの、起業支援のプログラム内容を強化する必要があると判断

今後の事業にむけて

課題

- ・岩手県沿岸でシングルマザー支援団体の存在が浸透していない
- ・計11回のプログラムはスケジュールがタイトなため仕事や子の行事等で欠席になる可能性が高い
- ・参加者全員の希望する曜日・時間に実施が困難・現状、連携企業(業務受託)が限定的である

修正内容

よって以下のようにプログラム変更

- ・自治体やハローワークが研修会場の提供と参加者募集をサポート
- ・参加者専用のSlackチャンネルを設け、研修の録画やレポートを共有し、円滑なコミュニケーションを図る
- ・連携による企業側の利益(社会貢献、ブランド価値の向上、新たな市場へのアクセスなど)を具体的に示し、他の企業との連携成功事例を紹介、参加による成果や実績を伝える(パートナー企業制度の導入キャンペーン実施)

ポイント

事前評価で、シングルマザーのニーズにビジネススキルの研修が不足していることが判明したため、新たにオンラインツールを用いて研修を実施することを追加。また、パートナー企業制度の導入キャンペーンを実施し、これにより参加者のスキルアップと就労機会の拡大が期待される

また、各行政は担当課レベルの認知に過ぎないため、課長クラスへの働きかけが必要。